

事務事業 No./名 称	■サービス部門 市民-14 海水浴場運営事業 □支援部門									
主管課	観光商工課					関連課				
分野名	観光									
目標 (目標値)	海水浴場を3海岸で開設するために、安全確保のための諸設備の整備、監視業務等の委託を行い、安全で快適な海水浴を楽しむことができるようにする。									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数	1,136,500人	904,700人	949,600人						
運営資源 状 況	決算値(千円)	43,386	45,487	46,737						
	(国・県)									
	(負担金等)			600						
	(一般財源)	43,386	45,487	46,137						
	人員配置数	0.8人	0.8人	0.75人						
	人件費(千円)	6,580	7,300	7,235						
	協働の パートナー	海水浴場連絡会	海水浴場連絡会	海水浴場連絡会						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	49,966	52,787	53,972						
	市民1人当 りの経費(円)	282	298	305						
	対象者1人 当りの経費(円)	44	58	57						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	藤 沢	逗 子	葉 山	三 浦	鎌 倉				
	海水浴客	3,757,900	732,000	86,561	522,525	1,136,500				
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
海水浴客数	◎	目標値	95.8万人	95.8万人	95.8万人	95.8万人	95.8万人	95.8万人		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	78.5万人	95.0万人	90.5万人	113.7万人				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
海水浴場運営事業	43,386千円	①効率性 △ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A	■B	□C □D □E
	事業の概要	海水浴場開設に必要な監視所・電気・水道・放送設備・防犯灯やコースロープの設置を行った。なぎさの整地、監視業務等を実施し、安全確保に努めた。				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A	□B	□C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	海の家の営業時間について、隣接市との差異があるため、引き続き、海水浴場組合との協議と県への条例化の働きかけが必要である。海の家におけるイベント等の開催に係る騒音問題についての対応が必要である。平成23年度市民事業評価において「統合・再構築」と評価されており、より効率的な事業運営に努める。		
課題解決のための取組	海の家の営業時間について、隣接市に合わせるように、自主規制の見直しを海水浴場連絡会に要望した。海の家におけるイベント等の開催に係る騒音問題に対処するため、建物の防音構造など自主規制の改正を行った。海岸の砂防柵の撤去・設置業務委託、監視所等賃借料などの経費削減を図った。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	海の家の営業時間について、特に腰越海水浴場が藤沢市の片瀬東浜海水浴場と同じ海岸でありながら、営業時間が違うことから、藤沢市から営業時間の短縮について要望を受けている。また、鎌倉警察署から隣接市に合わせるように鎌倉市海水浴場連絡会に対し要望書が出されている。海水浴場のより効率的な事業運営を図るため、ネーミングライツの導入を図る。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 △	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		引き続き、海水浴場連絡会に営業時間の見直しを要望するとともに、神奈川県に対しても県内統一ルールの検討を要望する。また、海水浴場に関する市条例制定も検討する。平成23年度市民事業評価において「統合・再構築」と評価されており、より効率的な事業運営に努める。	↓ B	課長等名 課長(代理) 齋藤和徳
		③有効性 ○				
		④公平性 ○				

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
海水浴場運営事業	主な個別事業	397 海水浴場監視業務等委託料	24,727	24,726	○	○	○	○
		397 海水浴場砂防柵設置・撤去及びなぎさ整地業務委託料	4,998	3,570	○	○	○	○
		397 砂防柵の撤去及び設置委託料	998	0	○	○	○	○
		397 なぎさ整地業務委託料(台風4号対応)	0	2,440	○	○	○	○
		397 放送設備及び放送塔設置委託料	1,784	1,731	○	○	○	○
		397 コースロープ設置委託料	1,494	1,494	○	○	○	○
		397 仮設木橋設置委託料	1,500	1,006	○	○	○	○
		397 仮設木橋材料保管・運搬業務委託料	0	494	○	○	○	○
		397 防犯灯及び監視所電灯配線設置等委託料	2,759	2,717	○	○	○	○
		397 監視所・仮設トイレ等賃借料	4,565	4,502	○	○	○	○
		397 海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金	519	431	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							